

海底エレベーター

洛南高等学校附属中学校

吉井 琢人

海底エレベーターの仕組みは図のようになっている。海底の表層型メタンハイドレートをブルドーザーですくいとり、海底エレベーターのかごに入れる。そして、エレベーターを上昇させる。浅いところにつくと水圧が低くなるのでメタンハイドレートがメタンガスの泡と水になる。その泡を漏斗で集めてホースに通し、ポンプへ送る。このポンプには弁がついていて、灯油を石油ストーブに入れる時に使う道具のようになっている。ポンプに十分な量の気体がたまると、クレーンからおもりを落とし、ポンプを圧迫させて気体を陸地の工場へと送る。かごの中のメタンハイドレートが消滅するとエレベーターを海底へ戻す。これを繰り返す。

